

|       |  |   |
|-------|--|---|
| ミズギク  | <i>Inula ciliaris</i> (Miq.) Maxim.  | 準絶滅危惧   |
|       |  | キク科   |
| 選定理由  | 生育地が急激に減少し、個体数も大きく減少しており、更に減少すれば個体群の維持が危うくなり、絶滅する可能性が出てくる。   | 写真(福岡義洋)<br> |
| 形態の特徴 | 茎は高さ30-50cm。根出葉は開花時にもあって、倒披針形、長さ4-10cm、幅8-14mm。茎葉は基部が茎を抱く。頭花は茎の先に1個、ときに少数の枝の先にもつき、直径約3cm、舌状花と筒状花からなり、小花は黄色。総苞は半球形。 |   |
| 生態的特徴 | 湿地に生育する多年草。花期は6-10月。   |             |
| 分布状況  | 日本に固有で、近畿地方から東の本州と九州に分布する。岐阜県では県北の南西部と県南の東部に見られる。  |   |
| 減少要因  | 開発による湿地の破壊。  |   |
| 保全対策  | 生育地の保全。  |   |
| 特記事項  |  |   |
| 参考文献  |  |   |

文責: 高橋弘